

チャレンジ・スピリットに満ちた躍進企業

スケーター株式会社 奈良県奈良市

チャレンジ・スピリットに満ちた躍進企業

「心に愛を、暮らしに夢を」を永遠のテーマに掲げ、キャラクター商品を中心に、あらゆる生活シーンにフィットする、ファンシー雑貨や家庭日用品の企画および販売を行っている躍進企業が、「スケーター株式会社」である。

業界他社では自前主義が主流の時代から、同社では生産設備を自社で持たないファブレス企業としての経営を確立し、素材や製品分野にとらわれない、トータルな物づくりを行っている。

スケーター株式会社は、キャラクター商品を中心に、ファンシー雑貨や家庭日用品の企画および販売を行っている躍進企業である。創業以来の軌跡が物語るように、同社は失敗を恐れないチャレンジ・スピリットに満ちている。

昭和13年、万年筆を製造・販売する個人企業として創業し、昭和25年に「スケーター万年筆株式会社」を設立。昭和39年にプラスチック部門を設立し、昭和47年にプラスチック家庭日用品の製造販売業を開始。昭和49年に社名を現在の「スケーター株式会社」に変更した。昭和54年以降にファンシー商品のトータル開発、ギフト商品開発など、取扱商品分野を拡大していった。

昭和59年に㈱サンリオと業務提携を行い、平成5年には㈱バンダイと業務提携、東映動画㈱と著作権契約を結ぶなど、いわゆる「売れるキャラクター」とのタイアップ展開を強化してきた。

また、物流の効率化や情報化などへの取組みにも積極的で、平成2年には新本社を竣工し、同年、東京・本社・福岡間のコンピュータオンライン化を図り、情報の一元化を実現するとともに、大幅な業務の効率化を行った。

一方、生産の国際分業化にも早くから着手し、昭和61年に台湾での海外生産を開始し、平成6年に海外生産拠点として中国の東莞、10年に上海、12年に廈門へと相次いで進出するなど、独自のネットワークづくりも業績拡大に貢献してきた。

更に、同社の躍進を支えてきたのが、強力な営業活動である。鴻池社長は「一軒行ったら百軒売る。一日売って百日売る…など、組織販売・関連販売などを計画的、組織的に行ってきたことが、当社の業績拡大につながっています」と語るように、同社は業界でいち早く、①カタログ制作、②

会社概要



会社名：スケーター株式会社
 所在地：奈良県奈良市杏町 216-1 (本社)
 電話：0742-63-2001 (代)
 F A X：0742-63-2021
 創業：昭和13年5月
 設立：昭和25年2月
 代表者：代表取締役 鴻池 良一
 資本金：8,000 万円
 従業員：100 名
 事業内容：ファンシー雑貨の企画および販売、家庭日用品の企画および販売、著作権事業
 URL：http://www.skater.co.jp
 E-mail：info@skater.co.jp



周辺環境と美しく調和したスケーター㈱の本社

上代決定、③統一した掛率での販売など、組織販売の仕組みを整え、営業の業界標準を作ってきた。

各種著作権を取得して多様な商品を企画・デザイン

スケーター(株)のキャラクター・ライセンス契約は、国内トップクラスであり、同社の最大の強みとなっている。キャラクターメーカーと綿密なコミュニケーションを図り、ニーズをタイムリーに取入れたキャラクター商品の開発に努めている。

主要なキャラクターは、「ハローキティ」等のサンリオキャラクター、「ポケモン」「とっとこハム太郎」等のTVキャラクターのほか、レディース関係、メンズ関係、スヌーピーをはじめとする世界のブランドキャラクターまで多岐にわたっており、全世代のニーズに応える多彩な商品を取り揃えている。



ハム太郎 ランチ



ダイカットテーブル



マグコップ

高い商品企画力で「心に愛を、暮らしに夢を」

平成2年、同業他社に先駆け生産設備を自社で持たないファブレス(*)企業としての経営を確立し、素材や製品分野にとらわれない、トータルな物づくりを行っている。鴻池社長は「機械を購入するより製品開発を優先しました。機械や人にとらわれず、何にでもチャレンジできるようになり、国内外からの最適調達や下請会社からの直送など、経営の選択肢が広がりました」と語っている。

* 自社で生産設備を持たず、外部の協力企業に100%生産委託しているメーカー。

顧客ターゲットを性別、年齢、感性等に応じてきめ細かくセグメンテーションしながら、常に生活者の立場に立って、一つひとつの商品に最適と

思われる素材、デザイン、機能、使いやすさ、安全性などを考えて、同社にしかできないトータルな物づくりを行っている。

現在、「心に愛を、暮らしに夢を」(Love in Heart, Dream in Living)を永遠のテーマに、家庭雑貨にとらわれず、楽しく生活するために必要な商品を様々な商品分野にわたり開発しており、あらゆる生活シーンに合う約2,000種のアイテムを揃えている。

最近では、生活を便利にする機能性商品の開発にも力を入れており、日本プラスチック日用品工業組合主催の「平成15年 第22回プラスチック日用品優秀製品コンクール」において、同社の開発した、簡単に素早く、蒸す、炊く、煮ることができる電子レンジ専用鍋「クック膳」が大賞[経済産業省製造産業局長賞]を、「食パンカットガイド」が優秀賞を受賞しており、売れ行きも好調である。



電子レンジ専用鍋「クック膳」

「変化」「スピード」「チャレンジ」を追及

鴻池社長は「大きな時代変革の中で、全てを見直すと共に、その対応策を果敢に、かつすばやく実行していくこと、すなわち『変化』『スピード』『チャレンジ』が当社の課題と考えています。今後は、お取引先と持ちつ持たれつ関係を保ちながらも、取扱商品と顧客の『選択と集中』を行い、当社にしかできないトータルな物づくりを行っていきたい」と語っている。(島田、井阪)